



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 世界三大漁場の宮城三陸産の新鮮な海の幸がすぐに手に入るロケーションです。また、チャレンジ精神に溢れる会社というのも特徴です。

Q2 宮城県産ムール貝の特徴は？

A2 ムール貝は養殖カキの殻に付きますが、他と違って県産カキは2年掛けて育てるので、ムール貝の身も大きく、ミネラル豊富に育ちます。

代表取締役
横江 正之 氏

《 信条 》
失敗を恐れない！失敗があっても成長する！

新鮮な宮城県三陸産海産物を全国の消費者に届ける

ムール貝やカキ、アワビ、ホヤ、渡り蟹、ワカメ、アカモクなど宮城県三陸産にこだわった海の幸を手掛ける株式会社セーフティー。特にムール貝については出荷する事業者が少ないことから、同社の主力商品となっている。

「もともと海産物は未経験だったので、手始めにライバルが少ないムール貝から始めました。それもあってムール貝が当社の柱の一つとなっています」と代表取締役の横江正之氏。取引先の多くは築地などの首都圏や関西圏だが、ネット販売による全国への直販も展開している。

選別作業の省力化とともに選別精度の向上も課題

ムール貝の取り引きは重さではなく、外殻の大きさによって行われた

FILE.07

増産体制の確立で市場ニーズに対応



自然まかせが難しい海産物安定商品の充実で販路拡大へ

自動選別機による生産性の向上によって増産体制が可能となり、販路の拡大も見えてきた。今後はネット直販の拡充や海外展開も見据えた販路開拓に注力。また、確立した急速冷凍技術を他商品での転用も検討中。さらに安定収穫で

シャコ海老の加工では、ボイルシャコ海老を急速冷凍することで、風味を損なわずに一年を通して美味しいボイルシャコ海老の安定供給が可能となった。

「シャコ海老は圧倒的に『活』の人氣が高いので、今後はボイルシャコ海老自体の需要開拓が必要になってくると思います」。



ため、貝の大きさによる選別作業が必要不可欠となるが、従来はオリジナルの選別器具を使っていた。これには時間と人手が必要となる。また、商品の大きさを細かく揃えて欲しいというニーズがあり、選別作業の精度向上も求められていた。そこで同社では画像認識カメラ搭載自動選別機を導入することで、課題の解決と生産性の向上を図った。また、削減した人員が従事するシャコ海老の冷凍加工では、こちらも新たに導入した急

株式会社セーフティー

代表取締役 / 横江 正之

所在地 / 宮城県石巻市松並1-10-8

T E L / 0225-94-7524

【26年度補正】
画像認識カメラ搭載自動選別機導入による
精度及び生産性向上と増収計画

きる海藻類の商品開発を行うことで、売上げ安定と商品の充実を目指す。



独自の仕様の自動選別機で時短と精度向上を実現

導入した画像認識カメラ搭載自動選別機は、独自開発の選別仕様とすることでカメラがミリ単位で大きさを自動選別。専用レーン上での仕分けも全自動で行われることで無人での選別作業が可能となり、選別精度も飛躍的に向上している。また、自動選別機はほかの貝類でも選別可能なので、今後は様々な商品での活用も考えているという。

速冷却冷凍装置によって商品力の向上を目指した。

